

会社: 株式会社パーキンエルマージャパン  
住所: 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134  
横浜ビジネスパーク テクニカルセンター 4F  
TEL: 045-339-5864 FAX: 045-339-5874  
緊急連絡先: 同上  
作成・改訂日: 2009年 10月 26日

MSDS No. 09988015

Code	製品名	包装
09988015	Alumel Reference Material	
内容	ニッケル (80-90 %) (労働安全衛生法, PRTR法該当) アルミニウム (2.5-10 %) (労働安全衛生法, PRTR法, 毒物及び劇物取締法非該当)	

## 物質の特定

単一製品・混合物の区別	混合物
物質の特定	ニッケル
含有量	80-90 %
化学式(分子量)	Ni (58.7)
官報公示整理番号	対象外
CAS No.	7440-02-0

## 危険・有害性の分類

最重要危険有害性及び影響 健康有害物質

人の健康に対する有害な影響

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある。皮膚に触れると、アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。呼吸器、腎臓の障害を引き起こす。長期または反復暴露により呼吸器の障害を引き起こす。発がんのおそれの疑いがある。

環境への影響

長期的影響により水生生物に有害のおそれがある。

物理的及び化学的危険性

通常取扱条件下では安定しているが、特定条件下では火災や爆発の危険をもたらしたり、有毒ガスを発生することがある。

## 応急措置

吸入した場合

空気が新鮮な場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗い、医師の診断を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗い、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

## 火災時の措置

### 消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。適切な消火剤を用いて消火する。

### 消火活動の注意事項

火災により刺激性、腐食性または毒性のガス(ニッケルカルボニルなど)を発生するおそれがある。消火作業の際には適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火剤 特殊粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、乾燥砂。(二酸化炭素、散水、泡消火剤は不可。)

---

## 漏出時の措置

漏洩物を清潔な帯電防止工具を用いて集め、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

### 処理者に対する注意

吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように、適切な保護具を着用する。

### 環境影響に対する注意

漏洩物を環境に放出してはならない。漏洩物が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

---

## 取扱および保管上の注意

### 取扱い

吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように、適切な保護具を着用する。

取扱場所が屋内のときは、局所排気装置を使用する。取り扱い後は、洗顔、うがい、手洗いをを行う。

### 保管

容器を密閉して、換気のよい冷所で保管する。

---

## 暴露防止および保護措置

### 許容濃度

ACGIH (2005) TLV-TWA 1.5mg/m<sup>3</sup> (Ni)

日本産業衛生学会(2005) 1mg/m<sup>3</sup> (Ni)

### 設備対策

局所排気装置を設置する。洗眼器及び安全シャワーを設置する。

### 保護具

呼吸器の保護具：呼吸器保護具

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護衣

---

## 物理的および化学的性質

ニッケル 単一製品として

外観等 様々な形状をした銀色の金属固体

融点 1455 沸点 2730 比重 8.9

引火点 データなし 発火点 データなし

溶解性 水に不溶

配合禁忌 強酸化剤、強酸

特定条件下で生じる危険な反応

粉末や顆粒状で空気と混合すると粉塵爆発の可能性がある。粉末の場合、チタン粉末、過塩素酸カリウム、硝酸カリウムなどの酸化剤と激しく反応して、火災や爆発の危険をもたらす。酸と激しく反応し、水素を発生する。燃焼により刺激性、腐食性または毒性のガス(ニッケルカルボニルなど)を発生する。

## 有害性情報

ニッケル 単一製品として

刺激性 データなし

急性毒性 経口 ラット LD<sub>50</sub>: >5,000mg/kg (ECETOC TR33, 1989)

がん原性 NTP(2005): R, IARC(1990): 2B

その他

環境影響情報 L(E)C<sub>50</sub> 100mg/Lデータが存在するものの、金属であり水中での挙動が不明である。

---

## 廃棄上の注意

関係法規並びに地方自治体の基準に従って処理する。

自己処理できない場合は、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

---

## 輸送上の注意

輸送に際しては、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国連番号 : 3089

品名 : 金属粉末(可燃性のもの)

国連分類 : クラス4.1(可燃性固体)

容器等級 : 監

---

## 適用法令

- 1) 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1の308 ニッケル)
- 2) 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9の418 ニッケル及びその化合物)

## 略号

LC<sub>50</sub>: lethal concentration 50 percent kill

LD<sub>50</sub>: lethal dose 50 percent kill

LCL<sub>0</sub>: lowest published lethal concentration

TCL<sub>0</sub>: lowest published toxic concentration

TLV-STEL: Threshold Limit Value - Short Term Exposure Limit(短時間曝露限界値)

TLV-TWA: Threshold Limit Value - Time Weighted Average(時間加重平均限界値)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

NTP: National Toxicology Program(USA)

本製品安全データシート(MSDS)は、入手した情報に基づいて作成されていますが、全ての情報を網羅しているわけではありませんので、お取扱には十分ご注意ください。

本MSDSの記載内容は、情報提供であり当該化学物質の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。